

北海道札幌

農神古子

川田三郎南



切敷



九月廿日

大坂市西區南... 通堂丁自
勝本 心兵衛

あまのふかきつらきあまのふか

きりぎりすのこゝろに

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

あまのふかきつらきあまのふか

経路

可成りと其は一人

ちりちりささるる

安んずる一も

一念入るる之に

海路も其し

素人のちりさ

のちりさ

以舟に其し

存もその

其理に

其の

其の

其の

其理は世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

其の世の世の

ソクサ

肝をくちくちと
比喩

3 龍を奉人
一のちん

学者等奉人

まーいあや
何れん

とるも一生此世の他

魂七息笑ツクサイと祈る者

ワセム
少年の漢学

或一川如清集る志也

投束月あく一棟七日は

下拙きし掃屋と由家

如き命加存氏あや

未拂止の裁とせ徴ねの

清集とあやの不待許

つらしかる
野中

おの子ふ
細谷子守

下 横手 打戸

女 志 命 加 藤 氏 志 志 志 志

未 拂 止 の 志 志 志 志 志 志

清 集 志 志 志 志 志 志 志

了 了 了 了 了 了 了

お の 子 志 志 志 志 志 志

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

志 志 志 志 志 志 志

志 志 志 志 志 志 志

志 志 志 志 志 志 志

志 志 志 志 志 志 志

志 志

志 志 志 志